

## 15日 日曜

### 箴言

9:1 知恵は自分の家を建て、石の柱を七本、切り出し、  
9:2 いけにえを屠り、ぶどう酒を混ぜ合わせ、その食卓も整え、  
9:3 侍女たちにことづけて、町の最も高い所で呼びかけさせた。  
9:4 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また、良識のない者に言った。  
9:5 「さあ、わたしのパンを食べなさい。わたしが混ぜ合わせたぶどう酒を飲みなさい。  
9:6 浅はかさを捨てて、生きなさい。分別のある道を、まっすぐに歩みなさい」と。  
9:7 嘲る者を戒める者は、自分が恥辱を受け、悪しき者を叱る者は、自分が傷を受ける。  
9:8 嘲る者を叱るな。彼があなたを憎まないために。知恵のある者を叱れ。彼はあなたを愛する。  
9:9 知恵のある者に与えよ。彼はますます知恵ある者となる。正しい人を教えよ。彼は洞察を深める。  
9:10 【主】を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟ることである。  
9:11 わたしによって、あなたの日は多くなり、あなたのいのちの年が加えられるからだ。  
9:12 あなたが知恵を得るなら、自分のために知恵を得ることになり、嘲るなら、自分だけが責めを負うことになる。  
9:13 愚かな女は騒がしく、わきまがなく、何も知らない。  
9:14 その女は自分の家の戸口に座り、町の高い所にある座に着き、  
9:15 道行く人々に呼びかけて言う。自分の道をまっすぐ歩く人々に。



9:16 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また良識のない者に向かって、この女は言う。  
9:17 「盗んだ水は甘く、こっそり食べるパンはうまい」と。  
9:18 しかし彼は、そこに死者の霊がいることを、その女の客がよみの深みにいることを、知らない。

知恵が「ここに来なさい」と、まるで人々を誘うようにして、その存在を明かにします。誰もが知恵に出会い、これを得ることができるということです。チャンスがなかったというのではなく、それを受け入れたかどうかが問われるのです。

「知恵のある者を叱れ」、「正しい人を教えよ」とあります。これは誰もが経験することで、人に教えても無駄であったというような経験からきていることばでしょう。人は自ら受け入れる思いのある人でないと、どんなに親切で教えてあげても無駄なのです。むしろ、それを受け入れる用意のある人こそ、教え導いてあげるべきです。

これらの知恵は特に神を恐れることに関連します。福音はたましいの備えができて人に伝える必要があります。説得で人は変わらないからです。主が備えておられるたましいが、誰であるかを知る必要があります。

思慮の欠けた女性について警告が書かれてあります。そのような人は女性に限らず、騒がしいほどに自分や感情を表すでしょう。しかし知恵がないので、すなわち神さまを恐れていないので、永遠の命の価値観からははずれています。思慮深く接する必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

